

1920年、この戯曲から、「ロボット」という言葉が生まれた。

兵庫県立
ピッコロ劇団 第78回公演

ロボット

ピッコロシアター
プロデュース

《作》
カレル・チャペック

《翻訳》
田才益夫

《演出》
高橋正徳(文学座)



これは、遠い過去か、迫る未来か

森好文
風太郎
岡田力
今仲ひろし
浜崎大介
野秋裕香
三坂賢二郎
木村美憂
有川理沙
谷口遼
岡島大祐
木下鮎美
〈関西俳優陣〉
小林輝里花
高瀬海帆
辻智之
森島隆博
森田学

	23 金・祝	24 土	25 日
11:00	●	●	●
16:00	●	●	●
19:00	●		

※開場は開演の30分前

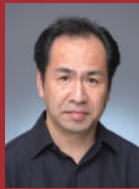
2024. 2.23fri~25sun

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

主催 | 兵庫県立尼崎青少年創造劇場 / 兵庫県 / 兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター



森 好文



風太郎



岡田 力



今仲ひろし



浜崎大介



野秋裕香



三坂賢二郎



木村美憂



有川理沙



谷口 遼



岡島大祐



木下鮎美



関西俳優陣



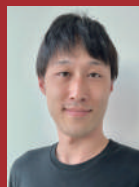
小林輝里花



高瀬海帆



辻 智之



森島隆博



森田 学

※やむを得ない事情により、出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

ロッサムズ・ユニヴァーサル・ロボッツ (RUR)社のロボット工場がある孤島。大統領の娘・ヘレナが来訪する。社長のドミンはヘレナにすっかり魅了され、ロッサム社幹部の男たちも彼女を歓迎する。だがヘレナの目的は、ロボットを人間同様に扱うよう求めることだった。ドミンらは彼女の主張を笑い飛ばし、ロボットには感情がないこと、人間がロボットによって労働から解放されることを語る――

現在、誰もが知る「ロボット」という言葉は、カレル・チャペックが戯曲『ロボット』(原題「RUR」)中で、人工の労働者を表現するため作った新語。チェコ語の「賦役」を意味する「robota(ロボタ)」に由来する。チャペックは、第一次世界大戦で機械文明が人間虐殺の道具になることを目の当たりにし、1920年、この作品を発表したといわれている。

兵庫県立ピッコロ劇団 第78回公演
ピッコロシアター
プロデュース

ロボット -RUR-

《作》カレル・チャペック
《翻訳》田才益夫
《演出》高橋正徳(文学座)

作 カレル・チャペック [1890-1938]

チェコの劇作家・小説家・エッセイスト。第一・二次世界大戦間の代表的作家として知られる。兄ヨゼフ・チャペックは画家・作家。『RUR』のほか代表作に『虫の生活から』(1921/兄との共作)など。ナチズムを批判した作品によりゲシュタポが危険視し、逮捕のため自宅へ押し入るが、カレルはその4か月前に病死していた。兄ヨゼフは強制収容所で亡くなっている。

演出 高橋正徳

1978年生。東京都出身。2000年文学座附属演劇研究所入所。05年座員昇格。04年アトリエの会『TERRA NOVA テラノヴァ』で文学座初演出。以降、川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出。文学座附属演劇研究所での演出も多く務め、公共団体・学校などでの演劇ワークショップの講師としても活躍。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間ローマに留学。近年の演出作品に、文学座『ガラスの動物園』(2019・2022)・『欲望という名の電車』(2022)、ホリプロ『ミュージカル ストーリー・オブ・マイライフ』(2019・2021)、テアトル・エコー『ギラギラの月』(2022)、椿組『まっくらやみ 女の筑豊(やま)』(2023)、東宝 舞台『最高のオバハン 中島ハルコ ナイルの涙』(2023)など。

美術 | 柴田隆弘 照明 | 吉本有輝子 音響 | 原島正治(囃子) 音響操作 | 三宅住絵(campana) 衣裳 | 大野知英 映像 | 中山晃子 ムーブメント指導 | いいむろなおき
演出助手 | 眞山直則 舞台監督 | 政香里沙 舞台監督補 | 永瀬由二 (ISPlayer[s]) イラストとチラシデザイン | チャーハン・ラモーン 制作 | 新倉奈々子 制作助手 | 山中麻由、今井佐知子
主催 | 兵庫県立尼崎青少年創造劇場/兵庫県/兵庫県立芸術文化センター 後援 | チェコセンター東京 協力 | (株)アイミーメイン、西北活性化協議会、ルート

2024.2.23(金・祝) 19時 24(土) 11時/16時 25(日) 11時/16時 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
※開場は開演の30分前 ※未就学児童のご入場はご注意ください。 〒663-8204兵庫県西宮市高松町2-22

全席指定(税込) 一般4,500円 大学生・専門学校生 3,000円 高校生以下 2,500円

一般発売12/17(日)

チケット取り扱い

■芸術文化センターチケットオフィス

0798-68-0255
(10:00~17:00※月曜休館、祝日の場合は翌日)
<https://www.gcenter-hyogo.jp>

12/16(土)芸術文化センター会員先行予約受付開始

※窓口での販売(残席がある場合)は12/19(火)より
※インターネットでのチケットのご購入には、
先行予約会員(無料)への登録が必要です。

■ピッコロ劇団

ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088(9:00~21:00※月曜休館、祝日の場合は翌日)
メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (件名を「ロボット」としてください)

- 記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号
③観劇日時 ④券の種類・枚数
※3営業日以内に返信がない場合はお問い合わせください。

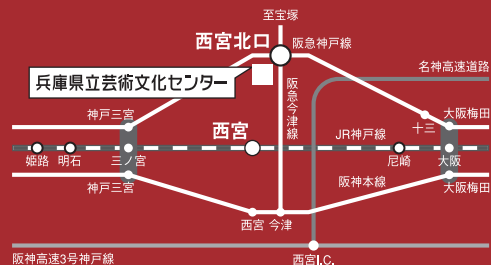


12/16(土)ピッコロサポートクラブ会員先行予約受付開始

ピッコロサポートクラブ会員は会員種別により招待または割引(ピッコロシアターのみで取り扱い)

■チケットぴあ (<https://t.pia.jp>) / ローソンチケット (<https://l-tike.com>) / e+(イープラス) (<https://eplus.jp>)

※インターネットのみで販売。取扱いは各プレイガイドにお問合せください。



阪急西宮北口駅南改札口すぐ
JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

お客様へのお願い〜新型コロナウイルス感染症拡大防止について〜

- ・発熱や体調不良時は、来場をお控えください。
- ・館内でのマスク着用は個人の判断となります。混雑時や継続的な発声を伴う場合等、必要に応じて着用してください。
- ・咳エチケット、手洗い、手指消毒や検温などを推奨します。

兵庫県立ピッコロ劇団

1994年に設立された全国初の県立劇団。本拠地ピッコロシアターをはじめ全国での公演活動、演劇を通じた学校や地域での人材育成、コミュニティづくりへの貢献など、幅広く活動を展開しています。おもな受賞に、紀伊國屋演劇賞団体賞、文化庁芸術祭賞(演劇部門)大賞など。劇団員35名、劇団代表 岩松了(劇作家・演出家・俳優)。

兵庫県立ピッコロ劇団
《お問い合わせ》 TEL 06-6426-8088 FAX 06-6426-1943 <https://piccolo-theater.jp>
〒661-0012兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8



文化庁文化芸術振興費補助金
舞台芸術等総合支援事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援)
独立行政法人日本芸術文化振興会

